

故ファン・ファイ・レーベトナム歴史学会名誉会長

大臣感謝状授与式挨拶（10月17日17：00～ 於：公邸）

御家族の皆様、

●故ファン・ファイ・レー・ベトナム歴史学会名誉会長に対する河野外務大臣感謝状の授与にあたり、日本政府を代表し、御挨拶を申し上げます。

●ファン・ファイ・レー先生は、ベトナムを代表する歴史学者であるとともに、日越関係に関する造詣も深く、日越間の相互理解と友好関係増進に多大な貢献されました。また、日越両国の多くの方から厚い信頼と尊敬を得ておられました。先生のご貢献は、多岐にわたりますが、本日は3点のみ述べさせていただきます。

●第一点は、越日友好協会に関連する貢献です。

日本とベトナムの関係が、厳しい状況にあった1987年、先生は、越日友好協会副会長に就任されました。その後、多くの越日文化交

流イベントを開催いただきましたが、特に先生が中心となり1990年に開催された、ホイアンの学術調査と町並み保存をテーマにした「国際シンポジウム」の成功は、日本の協力による街並み保存事業、ホイアンのユネスコ世界遺産への登録につながりました。今年8月に開催されたホイアン日本祭りは第16回を迎え、日本からもたくさんの方が参加し、日越友好の象徴となっています。また、昨年11月、APECダナン首脳会議後、安倍総理はフック首相の招待を受けて、ホイアンを訪れ、朱印船の寄贈式に参加、フック首相と共にホイアン市民の大歓迎を受けました。先生は、16世紀頃のホイアンと日本の歴史的絆を明らかにし、現代の友好交流の基礎をつくってくださいました。

●第2点は、ベトナム歴史学会会長としての貢献です。

1988年、先生は、ベトナム歴史学会会長に就任されて以降、日本との学術交流、ベトナム人日本研究者の育成等に貢献されました。例えば、2005年、ハノイ及びフエにおける東遊運動100年を記念する越日シンポジウム、2010年にはフエ、ゲアン省、ハノイにおける「ファン・ボイ・チャウ没70年、浅羽佐喜太郎没10

0年」の記念行事の開催を主導いただきました。その結果として、東遊運動、そして、ファン・ボイ・チャウと浅羽佐喜太郎の友情が、日越両国の多くの人に知られるようになるとともに、日越交流史の重要な出来事として記録されることになりました。昨年、ベトナムを初めて訪問された天皇皇后両陛下は、「フエ」のファン・ボイ・チャウ記念館を訪問され、日本でも大きく報道されました。日越を結ぶこれらの一連の出来事は、ファン・ファイ・レー先生のご尽力の賜物です。

●三点目は、先生が、1995年、ベトナム国家大学の社会人文科学大学東洋学部長に就任後、特に日本学の発展に大きな関心を払い、ベトナム人日本研究者の育成、質の高い日本学の発展に大きく貢献されたことです。現在、先生の薫陶を受けたファン・ハイ・リン准教授をはじめとする多数の優秀な日本学研究者が活躍されています。また、ベトナム国家大学ハノイ校東洋学部は、ベトナム各地の日本学部門を含む東洋学部のモデルとなりました。

●私自身のことについて少し語らせて頂きます。当地に着任して2

年たちますが、昨年5月と今年1月、先生から二度、ベトナムの現状、日越関係、越中関係等について教える機会がありました。非常に有益な内容で、新たに大使館に着任する館員には、その内容を伝えるようにしています。先生には、もっともっと沢山のことをご教示頂きたかったと思っており、先生が亡くなられたことは残念でなりません。

●先生は、「個人、国家、国際システムのいずれのレベルから分析しても、日本はベトナムにとって、最も重要かつ信頼できるパートナーである。現在の地域・世界情勢下において、日越間には自然のパートナーシップが醸成されている」と言われました。私は、先生のお言葉を胸に、日本とベトナムとの関係強化に努める決意です。ファン・ファイ・レー先生、本当に有難うございました。

●最後に、ご遺族の皆様に対して心からお悔やみを申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

2018年10月17日 在ベトナム日本大使 梅田邦夫 (了)